

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	針広混交林整備 【 間伐 】			
整備箇所	東村山郡中山町大字柳橋 地内		事業主体	山形県
整備面積	1.9ha	樹種	スギ、ザツ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、長年にわたって管理が放棄されたため、草本類や高木性広葉樹などの侵入によって造林木の生育が阻害された針葉樹林であった。</p> <p>このため、本事業において強度の抜き伐りを行い、下層植生の生長を促進し、針広混交林に誘導することによって水源かん養など公益的機能の高い森林が期待できる。</p>			



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 、 森林作業道開設 】			
整備箇所	西川町大字岩根沢ほか 地内		事業主体	西村山地方森林組合
整備面積	67.8ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、県内有数の森林資源を有する地域であるが、下刈りや除伐以降の手入れが行われず、長期にわたり放置される林分も見受けられていた。</p> <p>このため、本事業により森林施業直接支援事業も活用しながら、適正な立木密度となるように間伐を行い、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、森林作業道を開設し間伐材の有効活用も行った。</p>			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	里山林整備 【 抜き切り 】				
整備箇所	東根市大字泉郷字瀬戸山 地内			事業主体	山形県
整備面積	15.9ha	樹種	ザツ	林齢	42~117年生
整備内容	<p>当該箇所は、アカマツと広葉樹の林であるが、枯損木増加で荒廃し、天然更新が難しい状態であった。</p> <p>このため、本事業により枯死木や枯死に瀕した病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、下層植生及び高木性広葉樹の生育を確保し、荒廃した里山林の早期再生と居住環境の保全を図った森林が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 共存林整備（下刈、間伐、枝落とし） 】				
整備箇所	尾花沢市大字丹生 地内			事業主体	尾花沢市
整備面積	6.5ha	樹種	ナラ外	林齢	60~100年生
整備内容	<p>当該箇所は、小学校や畑側の針広混交林であったが、灌木等が繁茂し、野生動物と共存する空間が失われ、サルによるグラウンドへの進入やクマによる畑の作物への害により周辺関係者の安全安心を脅かしていた。</p> <p>このため、本事業で間伐を含めた森林整備を実施することにより、野生動物との適度な距離を保つ緩衝帯の役割が期待できる。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	針広混交林整備 【 抜き伐り 】				
整備箇所	最上町大字東法田字大沢山 地内			事業主体	山形県
整備面積	1.0ha	樹種	スギほか	林齢	55年生
整備内容	<p>当箇所は、広葉樹林に隣接するスギ林で、雪害により幹割れや梢端折れのスギが広範囲に分布している。また、林内にはホオノキやカエデ類などの広葉樹も生育している。</p> <p>そこで、スギ人工林に広葉樹の生育空間を確保し広葉樹の侵入を促すことにより、針葉樹と広葉樹が混じり合った多様な森林に誘導するため、スギを3割程度伐採した。</p>				



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	舟形町長沢字長沢山 地内			事業主体	山形県
整備面積	6.0ha	樹種	スギ	林齢	31~57年生
整備内容	<p>当箇所は、スギの植栽後に管理が放棄されたことから、下層植生が乏しく被圧木や枯損木も目立つ林分である。一方、被圧木や枯損木以外のスギは生長及び形質が良好で、将来も人工林として維持することが可能な森林である。</p> <p>そこで、長伐期の森林に誘導するとともに、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、不良木の伐採及び間伐を行った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	真室川町大字川ノ内字柏木野 地内			事業主体	山形県
整備面積	40.0ha	樹種	スギ	林齢	23～57年生
整備内容	<p>当箇所は、スギの植栽後に間伐等の施業が行われなかったことから、立木が混み合い形状比が高い林分である。しかし、今後の施業によっては、将来も人工林として維持することが可能な森林である。</p> <p>そこで、長伐期の森林に誘導するとともに、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、不良木の伐採及び間伐を行った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 森林景観整備 】				
整備箇所	大蔵村大字合海字ウト山ほか 地内			事業主体	大蔵村
整備面積	6.1ha	樹種	スギ	林齢	40～70年生
整備内容	<p>当箇所は、新庄市から大蔵村に至る幹線道路沿いのスギ林で、下草やつる等が繁茂し景観が著しく悪化している。</p> <p>そこで、森林の景観を改善するため、枝打ちやつる切りなどを実施した。また、やまがた緑環境税を活用した取組みを周知するため、PP看板を設置した。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	針広混交林整備 【 抜き伐り 】				
整備箇所	米沢市大字築沢字助ノ沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	8.7ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	27年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期間管理放棄されたため、草本類や高木性広葉樹などの侵入により造林木の生育が阻害され、人工林として維持することが困難な状態でした。</p> <p>そのため、本事業により強度の抜き伐りを行うことで高木性広葉樹及び造林木の生育空間を確保し、広葉樹と針葉樹が入交じる自然林の造成を図りました。</p>				



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	小国町大字沼沢字間瀬 地内			事業主体	山形県
整備面積	1.7ha	樹種	スギ	林齢	32年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育し、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立つ状態でした。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐を行うことで、スギ林として公益的機能の維持を図りました。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	里山林再生 【 抜き伐り（マツ・ナラ枯れ被害木処理） 】				
整備箇所	米沢市大字遠山字愛宕 地内			事業主体	山形県
整備面積	5.0ha	樹種	ナラ	林齢	56～70年生
整備内容	<p>当該箇所は、『斜平山』として景観的に親しまれると共に神社等の史跡や登山道が維持された広葉樹二次林ですが、数年前からマツクイ・ナラ枯れ被害等による枯損木が急増し、このまま放置すれば二次被害が懸念される状態でした。</p> <p>そのため、本事業により森林病害虫等による枯損木の抜き伐りを行うことで、荒廃した里山林の早期再生と生活環境の保全を図りました。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 共存林整備 】				
整備箇所	川西町大字大舟字萌沢入 地内			事業主体	川西町
整備面積	1.9ha	樹種	ナラ外	林齢	35～50年生
整備内容	<p>当該箇所は、県道沿いの広葉樹林で、管理不足から灌木等が繁茂しヤブ化した状態で、人家裏でもクマの目撃情報が寄せられていました。</p> <p>そのため、本事業により灌木類等の除伐、刈り払いを行うことで、森林の見通しを確保し、人とクマの緩衝を図りました。</p>				



整備前

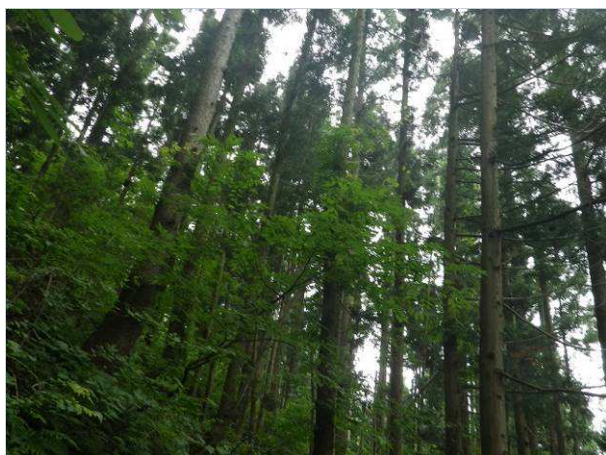


整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	鶴岡市山五十川 地内外			事業主体	山形県
整備面積	1.3ha	樹種	スギ	林齢	45年生
整備内容	<p>当該箇所は、県道に面した斜面に位置する針葉樹林で、幹折れや生長の悪い不良木や枯損木も多く、過密で林内に日光の届かない薄暗い状態であった。</p> <p>このため、本事業において間伐を行い、生育空間の確保による林木の健全な成長の促進および林内の光環境の改善により林床植生が発達することで山地保全機能の発揮を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備（補助）【 間伐・作業道 】				
整備箇所	鶴岡市小名部地内			事業主体	温海町森林組合
整備面積	52.81ha	樹種	スギ	林齢	55年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林でかつ雪害被害による幹折れ木が多い状態であった。</p> <p>間伐の実施後は、混みあっていた林内に適度な空間ができ、立木の健全な生育が期待できる状態になった。また、森林作業道を開設することで間伐材を搬出し、資源を有効利用することが出来た。</p>				



整備前

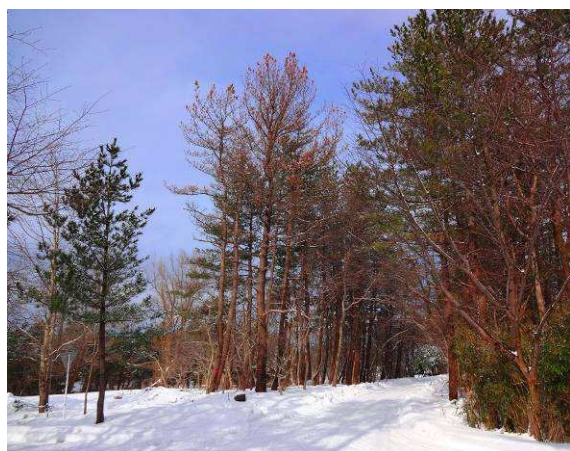


整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	里山林再生 【 危険木処理（松くい虫被害木処理） 】				
整備箇所	酒田市坂野辺新田 地内外			事業主体	山形県
整備面積	61.0ha	樹種	クロマツ	林齢	38～138年生
整備内容	<p>当該箇所は、国道や通学路、農地、電線に隣接するクロマツの海岸林であるが、松くい虫被害等による枯損木が増加し、倒木による二次被害の影響で交通安全の確保や快適な居住環境の維持が困難な状態であった。</p> <p>このため、本事業により枯損木の伐倒処理を行うことで、荒廃した海岸林の活力再生と居住環境の保全を図った。</p>				

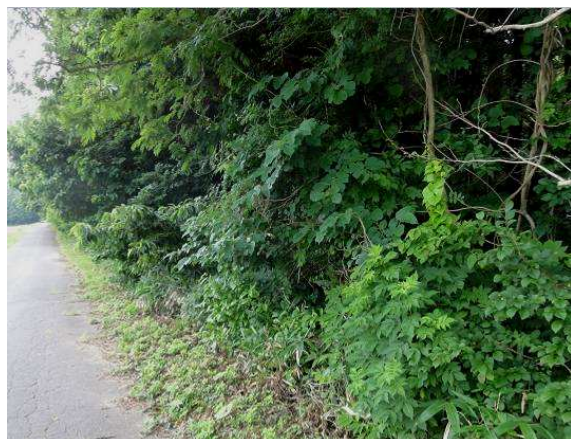


整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 森林景観整備（除伐、枝落とし、刈刈） 】				
整備箇所	遊佐町当山字大沢尻 地内			事業主体	遊佐町
整備面積	1.1ha	樹種	スギ	林齢	48～63年生
整備内容	<p>当該箇所は、過密な針葉樹林でこれまで手入れが行われておらず、道路に伸びた下枝が交通の安全確保に支障があること、また林内では笹や灌木等が繁茂するなど景観が著しく悪化しており、健全な森林環境の維持が困難な状態であった。</p> <p>このため、本事業により除伐や枝落とし、笹や灌木の刈払いを行うことで安全性の確保と景観の保全を図った。</p>				



整備前



整備後